

金融仲介機能の発揮の成果

(1) 取引先企業の経営改善や成長力の強化

《当金庫がメイン金融機関として取引を行っている企業のうち、経営指標等の改善が見られた先数及び同先に対する融資額の推移》

	4/3末		4/3末	3/3末	2/3末
メイン先数	440先	経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移			
メイン先の融資残高	147億円		77億円	66億円	50億円
経営指標等が改善した先数	144先				

※先数は単体ベース。 ※経営指標は売上高増加率、就業者数を採用しております。

(2) 取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

《当金庫が貸出条件の変更を行った先の経営改善計画の進捗状況》

(4/3末)	条件変更総数	好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	65先	11先	37先	17先

※進捗を計測している指標：売上高、キャッシュフロー
※・好調先：120%超 ・順調先：80%～120% ・不調先：80%未満 ・経営改善計画のない企業は不調先に区分しております。

《当金庫が関与した創業、第二創業の件数》

	4/3月期
創業件数	3先

《ライフステージ別の与信先数、及び、融資額》

(4/3末)	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	644先	24先	41先	483先	57先	39先
ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高	183億円	18億円	29億円	116億円	7億円	12億円

※対象：法人、個人事業主（当金庫が決算データを5期保有していない先（除く創業先）は含まれておりません。）

※ライフステージの区分

・創業期：創業、第二創業から5年まで ・成長期：売上高平均で直近2期が過去5期の120%超 ・安定期：売上高平均で直近2期が過去5期の120%～80%
・低迷期：売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満 ・再生期：貸付条件の変更または延滞がある期間

(3) 地域へのコミットメント・地域企業とのリレーション

《当金庫がメイン金融機関として取引を行っている企業の割合》

	4/3月期
メイン取引（融資残高1位）先数	440先
全取引先数に占める割合	68.3%

金融仲介機能の発揮に向けた各種取組みの進捗状況

(1) 事業性評価に基づく融資等、担保保証に過度に依存しない融資

《地元の中小企業と信先のうち、無担保と信先数、及び、無担保融資額の割合 4/3末》

地元中小企業と信先数 ①	地元中小企業向け融資残高 ②	無担保融資先数 ③	無担保融資残高 ④	無担保融資先数割合 ③/①	無担保融資残高割合 ④/②
644先	18,382百万円	449先	8,633百万円	69.72%	46.96%

《地元の中小企業と信先のうち、根抵当権を設定していない与信先の割合 4/3末》

地元中小与信先数 ①	根抵当権未設定先数 ②	根抵当権未設定先数割合 ②/①
644先	472先	73.29%

《経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、地元の中小企業と信先に占める割合 4/3末》

地元中小与信先数 ①	ガイドライン活用先数 ②	ガイドライン活用先数割合 ②/①
644先	25先	3.88%

《地元の中小企業と信先数のうち、無保証のメイン取引先数の割合 4/3末》

地元中小企業と信先数 ①	無保証メイン先数 ②	無保証メイン先数割合 ②/①
644先	217先	33.70%

《中小企業向け融資のうち、信用保証協会保証付き融資額の割合及び100%保証付き融資額 4/3末》

中小企業向け融資残高 ①	保証協会付融資残高 ②	100%保証付融資残高 ③	保証協会付融資残高割合 ②/①	100%保証融資残高割合 ③/①
18,382百万円	3,335百万円	2,413百万円	18.14%	13.13%

《地元の中小企業と信先のうち、事業性評価に基づく与信先の割合 4/3末》

地元中小企業と信先数 ①	地元中小企業向け融資残高 ②	事業性評価融資先数 ③	事業性評価融資残高 ④	事業性評価融資先数割合 ③/①	事業性評価融資残高割合 ④/②
644先	18,382百万円	172先	5,220百万円	26.71%	28.40%

(2) 本業（企業価値の向上）支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供

《本業（企業価値の向上）支援先数、ソリューション提案先数、メイン取引先のうち経営改善提案を行っている先数令和3年度計》

岡山県内における販路開拓支援	岡山県外での販路開拓支援
11先	10先

店舗一覧表

本店営業部 〒716-0037 高梁市正宗町1964番地の1 TEL.0866-22-2191 FAX.0866-22-0091

成羽支店 〒716-0111 高梁市成羽町下原963番地の2 TEL.0866-42-2644 FAX.0866-42-2646

下町支店 〒716-0022 高梁市下町23番地 TEL.0866-22-2376 FAX.0866-22-3797

賀陽支店 〒716-1122 加賀郡吉備中央町竹荘486番地の2 TEL.0866-54-1335 FAX.0866-54-1336

北房支店 〒716-1411 真庭市上水田2998番地の3 TEL.0866-52-3151 FAX.0866-52-3152

落合支店 〒716-0061 高梁市落合町阿部1282番地の3 TEL.0866-22-1500 FAX.0866-22-1526

新見営業部 〒718-0003 新見市高尾2482番地の1 TEL.0867-72-4411 FAX.0867-72-1895

中央支店 〒718-0011 新見市新見866番地の1 TEL.0867-72-2160 FAX.0867-72-7716

正田支店 〒718-0013 新見市正田257番地の11 TEL.0867-72-0724 FAX.0867-72-0471

大佐支店 〒719-3503 新見市大佐小阪部1501番地の2 TEL.0867-98-2878 FAX.0867-98-2877

本部 〒716-0037 高梁市正宗町1964番地の1 TEL.0866-22-2191 FAX.0866-22-7533


事務センター 〒716-0037 高梁市正宗町1967番地の7 TEL.0866-22-2192 FAX.0866-22-2791


豊かな明日へのおてつだい
備北信用金庫

登録金融機関 中国財務局長（登金）第43号

http://www.shinkin.co.jp/bihoku/

〒716-0037 岡山県高梁市正宗町1964-1 TEL.0866-22-2191 FAX.0866-22-7533

 この印刷は、水質保全に有効な木質印刷方式を採用しています。

 この印刷は、環境にやさしい植物性インキを使用しています。

この冊子には再生紙を使用しています。

2022年11月発行

BIHOKU SHINKIN

BANK REPORT

SEP.2022

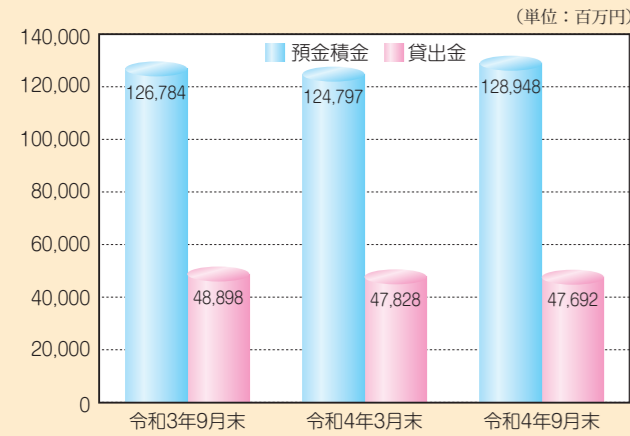
備北信用金庫ディスクロージャー誌(2022年9月)

ごあいさつ

平素より備北信用金庫をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。
この度、みなさまに備北信用金庫をよりご理解いただくために「2022年9月期 ディスクロージャー誌 BIHOKUSHINKIN BANK REPORT」を作成いたしましたのでご覧ください。
備北信用金庫は、地域で一番最初に相談していただける金融機関を目指しております。今後もより一層のご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 岡田 誠治

預金・貸出金の残高推移



預金は、退職金やボーナス預金の獲得に努めるとともに、年金受取口座の獲得にも注力し個人の預金が増加、また、法人預金、公金預金の滞留もあり、前期末比 4,151百万円増加の128,948百万円となりました。
貸出金は、事業資金の獲得に努めるとともに、個人向けにおいてはWEB完結ローンなどに注力しましたが、公金、法人向け融資の償還等により前期末比136百万円減少の47,692百万円となりました。

有価証券の状況

	令和4年3月末残高				令和4年9月末残高			
	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	18,542	555	684	128	19,434	173	525	351
株式	654	568	570	1	555	472	473	1
債券	13,341	41	101	60	14,683	▲215	50	266
外国証券	4,163	▲38	2	41	3,942	▲59	0	59
投資信託	383	▲15	9	25	252	▲23	1	24

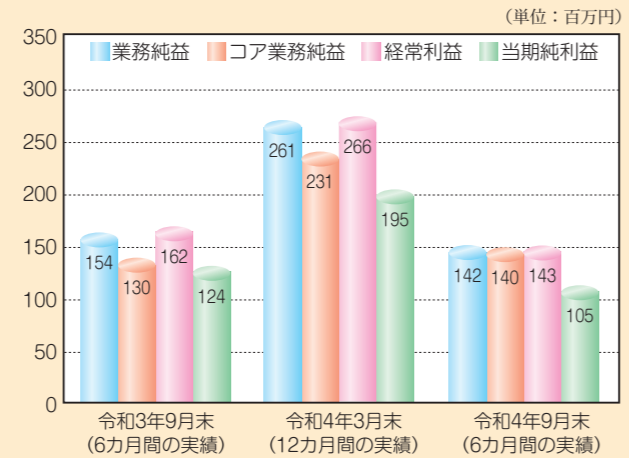
	令和4年3月末残高				令和4年9月末残高			
	貸借対照表計上額	含み損益	うち益	うち損	貸借対照表計上額	含み損益	うち益	うち損
満期保有目的債券	13,723	190	359	169	13,968	▲197	258	455
債券	11,525	246	347	100	11,770	▲83	248	332
外国証券	2,198	▲55	12	68	2,198	▲114	9	123

金融再生法開示債権

	令和3年9月末残高	令和4年3月末残高	令和4年9月末残高
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		284	207
危険債権		734	786
要管理債権		5	15
正常債権	48,226	47,158	46,967
合計	49,251	48,167	47,957

- 注1 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 注2 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 注3 「要管理債権」とは、「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
- 注4 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

収益の推移



マイナス・ゼロ金利政策のもと、厳しい経営環境の中、収益の確保のため融資力強化に努めるとともに、預かり資産の増強にも努め、余裕資金は安全な運用を心掛け、さらに、厳格な償却・引当を実施した結果、令和4年9月期は当期純利益105百万円を計上することができました。

※業務純益……金融機関の業務に係る利益を示しています。
※コア業務純益……業務純益から、一時的な変動要因（一般貸倒引当金繰入額や国債等債券関係損益）の影響を除いたもので、金融機関の基本業務による収益力を示しています。
※経常利益……業務純益に業務外の損益を加減し、経常的な営業活動の成果を示しています。

当金庫の自己資本比率について

項目	パーゼルⅢ国内基準		
	令和3年9月期	令和4年3月期	令和4年9月期
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	9,639	9,715	9,805
出資金・資本剰余の額	330	330	330
利益剰余金の額	9,244	9,316	9,412
外部流出予定の額(△)	—	9	—
引当金等合計の額	64	77	63
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	5	10	13
無形固定資産の額	2	2	13
自己資本の額[(イ+ロ)](ハ)	9,633	9,704	9,792
信用リスクアセット合計の額(ニ)	55,381	55,143	56,086
オンバランス取引項目の額	55,084	54,855	55,875
オフバランス取引項目の額	296	288	211
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額(ホ)	2,411	2,349	2,349
リスク・アセット合計額[(ニ+ホ)](ヘ)	57,792	57,493	58,436
自己資本比率[(ハ)/(ヘ)]	16.66%	16.87%	16.75%

【パーゼルⅢについて】

新BIS規制（パーゼルⅢ）とは、主要国の金融監督当局で構成するパーゼル銀行監督委員会が2010年9月に公表した、銀行の健全性を維持するための新たな自己資本規制で、2008年－2009年の世界的な金融危機を教訓に新たな枠組み（規制強化策）が策定されました。当金庫では、平成25年3月8日、自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」が改正され、平成26年3月31日から改正後の告示が適用されたことから、新BIS規制（パーゼルⅢ）に基づく国内基準で自己資本比率を算出しています。

自己資本の充実度に関する事項

	令和4年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額 ¹⁾
イ. 信用リスクアセット・所要自己資本の額合計	56,086	2,243
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー ²⁾	57,043	2,281
現金	-	-
ソブリン向け ³⁾	520	20
金融機関・第一種金融商品取引業者向け	13,790	551
法人等向け	22,153	886
中小企業・個人向け	6,672	266
抵当権付住宅ローン	816	32
不動産取得等事業向け	3,679	147
3か月以上延滞等 ⁴⁾	200	8
取立未済手形	1	0
信用保証協会の保証付	151	6
出資等	311	12
出資等のエクスポージャー	309	1
上記以外	8,744	349
他の金融機関の対象資本調達手段の内対象普通出資及びその他外部TLAC関連調達手段に該当するもの以外のものに該当するエクスポージャー	6,965	278
信用金庫連合会の対象普通出資等でコア資本に係る調整項目の額に算入されなかったエクスポージャー	521	20
特定項目のうち調整項目額に算入されないエクスポージャー	370	14
②リスクウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー	66	2
③他の金融機関の対象資本調達手段エクスポージャーでリスク・アセット額に算入されなかった額	△1,022	△40
ロ. オペレーショナル・リスク ⁵⁾	2,349	93
ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ) ⁶⁾	58,436	2,337

- ※1. 所要自己資本の額＝リスク・アセット×4%
- ※2. 「エクスポージャー」とは、資産（派生商品取引によるものを除く）並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額です。
- ※3. 「ソブリン」とは、中央政府、中央銀行、地方公共団体、我が国の政府関係機関、土地開発公社、地方住宅供給公社、地方道路公社、外国の中央政府以外の公共部門（当該国内においてソブリン扱いになっているもの）、国際開発銀行、国際決済銀行、国際通貨基金、欧州中央銀行、欧州共同体のことで。
- ※4. 「3か月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「ソブリン向け」、「金融機関向け」、「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことで。
- ※5. オペレーショナル・リスクは、当金庫は基礎的手法を採用しています。
- ＜オペレーショナル・リスク（基礎的手法）の算定方法＞
- $$\frac{\text{粗利益（直近3年間のうち正の値の合計額）} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$
- ※6. 単体総所要自己資本額＝単体自己資本比率の分母の額×4%



(2022年7月19日：高梁市役所にて)

「女子サッカーFC吉備国際大学シャルム岡山高梁」に対するチーム支援金として高梁市へ助成金を贈呈しました。

一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の増減及び貸出金償却額

	令和4年9月期				
	期首残高 (令和4年3月末)	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
一般貸倒引当金	77	63	—	※77	63
個別貸倒引当金	359	372	—	※359	372

※洗替えによる取崩額

	令和4年9月期
貸出金償却額	—

信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー

信用リスク削減手法	令和4年9月期	
	適格金融資産担保	保証
ポートフォリオ 信用リスク削減手法が適用された エクスポージャー	464	4,652

(注) 当金庫は、適格金融資産担保について簡便手法を用いています。

出資等エクスポージャーに関する事項

	令和4年9月期	
	貸借対照表計上額 ^{※1)}	時価
上場株式	630	630
非上場株式等	735	735

※1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
(注) 投資信託等の裏付資産のうち出資等に該当するものは一括して上場株式に含めています。

金利リスクに関する事項

項番		令和4年9月期	
		△EVE	△NII
1	上方パラレルシフト	4,666	301
2	下方パラレルシフト		0
3	スティープ化	3,657	
4	フラット化		
5	短期金利上昇	454	
6	短期金利低下		
7	最大値	4,666	301
	自己資本の額(令和4年3月期)		9,704

△EVE：金利ショック幅による経済的価値（EVE：Economic Value of Equity）の減少額
△NII：金利ショック幅による期間収益価値（NII：Net Interest Income）の減少額
金利リスクに関する事項については、平成31年金融庁告示第3号（2019年2月18日）による改正を受け、2019年3月末から金利リスクの定義と計測方法等が変更になりました。

トピックス

「理事長杯学童軟式野球大会」の開催

高梁地区から4チーム、新見地区から4チーム、東備地区から7チーム、井笠地区から2チームの合計17チームが参加し、第1回目の軟式野球大会が開催されました。2日間にわたり熱戦を繰り広げました。



(2022年7月10日及び18日)

「理事長杯ゲートボール大会」の開催

コロナ禍の影響により中止していましたが3年ぶりの開催となりました。日頃の練習の成果を十分に発揮され一日を楽しんでおられました。



(2022年6月25日)

「備中たかはし松山おどり「うちわ」の贈呈

当金庫では毎年「備中たかはし松山踊り」の開催にあわせて「うちわ」を作成しています。今年は3年ぶりに開催され大いに盛り上がりました。また、デザインをされた高梁城南高校の生徒さんに感謝状を贈りました。



(2022年7月28日)

「しんきん合同ビジネス交流会」の開催

当金庫では地元企業の販路拡大などに貢献できるように、岡山県下の信用金庫が合同で第16回のビジネス交流会を開催しました。本年は450社の企業が参加されました。



(2022年9月14日)